

第9期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部 会 名	社会参加・就労支援部会
開 催 日 時	令和6年9月26日(木) 18:00～19:30
記録担当委員	林 由起
<p>【協議概要】</p> <p>資料1：超短時間雇用モデル 資料2：超短時間雇用モデルと地域でのインクルーシブな働き方</p> <p>1. 小金井市版超短時間雇用の検討</p> <p>▼小金井市障害者就労支援センター センター長さまより</p> <p>○就労支援連絡会のアンケートではB型から働ける人が出ていくと困りますというような意見もあるが、週何時間何日なら働けますという具体的な意見もあるので、まるきり無理という話ではないと思う。自立生活支援課の方と同行して商工会の企業に仕事の切り出しをお願いするアンケートを行い、送付した1,500社のうち3社から回答があった。</p> <p>○できるだけ地域にあった短時間雇用が進んでいったらいいなと思っている。市内の大型店舗にも投げかけていきたい。</p> <p>○超短時間雇用のニーズが高いというのは耳にするが、実際にお声があったときに誰を紹介するかがすごく難しい。庁内での実習を受けていただいて、この方だったらということはできるが、B型の利用者を把握して紹介するのは難しい。センターの人員不足もあるため、B型の職員さんと一緒に伴走支援をしていけたら良いなと思っている。</p> <p>▼委員より</p> <p>○超短時間雇用で何を実現できれば良いと思ってやってらっしゃるのか？</p> <p>→障がいのある方が短い時間でも能力を発揮して、地域で活躍できること。それは雇用でもB型でも良いと思う。</p> <p>○超短時間雇用はジョブ型なので、雇用しないといけないと思うと企業側が不安に思う。仕事がなくなったときに地域に戻しても大丈夫な仕組みづくりが大切。地域に接続する仕組みがあることによって、企業が気軽に参加できる。</p> <p>○小金井市版超短時間雇用の定義づけをしたい。資料の中の、収入、セーフティネット、社会的所属まで持っていくのが目標値になるかと思っている。その定義に基づいて、企業さんに働きかけると進みやすいかと思う。</p>	
<p>【次回の開催日程】</p> <p>令和6年10月24日(木)17:00 前原暫定集会施設A会議室</p>	

.....
.....
.....